



ゆがわ 議会だより

令和４年
第120号
1月27日発行





つきたての お餅っておいしいね！

主な内容

表紙：ゆがわ幼稚園もちつき
◆ 12月定例会提出議案審議 …… Ｐ２～４
◆ 一般質問（８議員が村政を問う）…… Ｐ５～12
◆ 町村議会議員研修会報告等…… Ｐ13～15
◆ 議会の主な動き・編集後記 …… Ｐ16

子育て世帯臨時特別給付金
現金10万円一括給付　可決

12月定例会

12月定例会が12月10日から15日までの6日間の会期で開催されました。
村長から提案された条例改正をはじめ、補正予算など、8件が審議され、すべて原案どおり可決されました。
また、13日・14日の2日間行われた一般質問には、8名が登壇し三澤村政について問いました。

湯川村では子育て世帯臨時特別給付金について、当初は選考給付金として児童生徒一人当たり５万円を支給し、残りの５万円分については国の方針のとおりクーポンでの給付を検討していましたが、国の方針転換を受け、現金10万円を一括給付することとし、追加議案として残り５万円分の補正予算が提案され全会一致で可決されました。



議案の主な内容

＜議案第67･71号　令和３年度湯川村一般会計補正予算（第６･７号）＞

【総務費・企画費】

今年度のふるさと納税事業の受付期間が終了し、寄付金額が確定したことに伴い、農家支援事業委託料（返礼品の発送事業）1,101千円を増額するものです。

今年度の寄付金額：1億2300万9000円（前年比2787万4500円の減）
寄附件数：1,706人　（前年比323人減）
寄付金が多い都道府県　①福島県3779万7千円　②東京都2351万2千円　③神奈川県1250万円

【民生費・児童福祉総務費】

子育て世帯への臨時特別給付金として18歳以下の児童生徒一人当たり5万円分の給付金2690万円を計上しました。なお、議案第71号　令和３年度一般会計補正予算（第７号）として、残り5万円分の給付金2690万円が追加提案され可決されました。

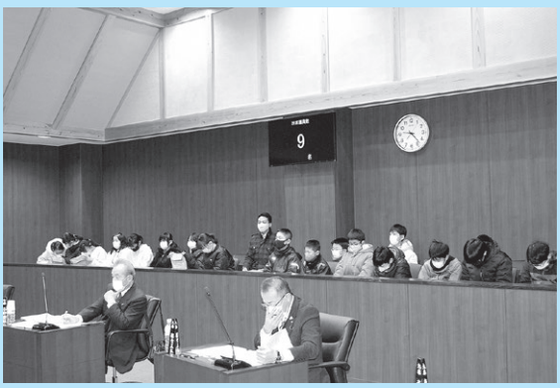
【農林水産業費・農業振興費】

農業振興基金元金積立金として1000万円を増額しました。なお、12月末現在の基金残高は１億9,333万円となり、今後の農業振興施策に活用されます。

【消防費・消防施設費】

消火栓ボックスに格納されている消防ホースを確認したところ、破損や亀裂等が確認されたホースがあったため30万円を増額補正し、新しいホースを購入するものです。

小学生が本会議を傍聴



笠川小学校６年生

笠川・勝常両小学校の６年生が１２月議会定例会を訪れ、一般質問を傍聴しました。
児童の皆さんからいただいた感想文の一部を紹介します。

（勝常小）

「湯川村議会を傍聴して」



今年も残りわずかとなりましたがお変わりなくお過ごしでしょうか。先日は、村議会を見学させてくださりまことにありがとうございました。

ぼくは、今回の村議会を見て議会の方々がぼくたち村民のために何ができるかを、必死に考えてくださっていることが分かりました。また、ぼくたちが安全に楽しく過ごせるようにする取り組みをして下さっているおかげで安心して過ごすことができています。もっと湯川村を良くするためにいつだけぼくに意見があります。それはポイ捨て防止をもっと徹底してやるべきだと考えます。ぼくの通学路やほかの地区の通学路にはたばこの吸いがらなどとてもゴミが落ちています。それがなくなればぼくはもっと良い湯川村になると考えます。

最後に先日は本当にありがとうございました。ぼくも大人になり、議会に入ることがあれば湯川村の人たちのために尽くしたいです。議会の皆様これから先、お体にお気をつけてお過ごしください。

勝常小学校　6年　　氏名 高木 文慈

（勝常小）

「湯川村議会を傍聴して」



寒い日が続いていますが、お元気でお過ごしですか。先日は、村議会を見学させていただきありがとうございました。

ぼくは、初めて議会の様子を見ました。各議員の皆様は、村のために、意見を出し合い、湯川村を引っ張ってくれているごとを初めて知りすばらしい存在だと思いました。

ぼくは、一人の村民として自転車に、反射材を付けるというのは、良い意見だと思います。そして、中台は、歩道や、風よけがありますが、となりの堂畑地域の人たちは風よけもないし、歩道もなく、道路を歩いているので安全ではないと思います。堂畑地域も何か対策をしていただけたら、うれしいです。

今回、議会を傍聴して、ぼくも将来議員になって、湯川村のためにがんばりたいと思うようになりました。そして村長にもなりたいです。そのために、今できることをがんばりたいです。議員の皆様もお元気でご活躍ください。

勝常小学校　6年　　氏名 片桐　龍斗



勝常小学校６年生

（笠川小）

湯川村議会を傍聴して

ぼくは、湯川村の議会を見学して、自分たちがやっている話し合いとは全然ちがうことが分かりました。やっぱり、本当の議はとっても静かで、きんちょうしましたが、議員さんが話し合っているのを聞くと、さらに続きが聞きたくなりました。自分たちが議会を見学した時は、通学路について、児童クラブについて、学校の給食についてなど、子供たちのことに関係する事を話し合ってくれていて、議員さんは子供のことを見てくれている人だなあと思い、安心しました。自分たちの学級は、給食が残ってしまうことが多いので、これからは苦手なものにもちょう戦していきたいです。

笠川小学校　6年　名前〔 福地 礼東 〕

（笠川小）

湯川村議会を傍聴して

私は議会を見学して、1つのことが解決するまで話し合っていたり、細かいところまで話し合いをしているのだと思いました。そして、私達が聞いたこと給食のことや通学路のことなど、私達に関することが多いなと思いました。それに、議会の話し合いは私達が学校でやっている話し合いとは全然ちがって、すごくきっちりしていることも分かりました。

私は、初めて議会を見ましたが、途中まで見てもっと見たいなぁと思いました。私も健康に過ごせるようにしっかり食べることなど今できることを協力してがんばりたいと思いました。

笠川小学校　6年　名前〔 山口　柚奈 〕

第547回　11月臨時会における議員の賛否の公表

（湯川村議会基本条例第４条６項に基づき公表いたします。）

			1	2	3	4	5	6	7	8	9
議案番号	件名	賛否	廣川文夫	伊藤幸喜	小沢甲市	片桐英子	三澤榮三	高倉好博	小野澄雄	篠竹正弘	斎藤賢一
60	令和３年度湯川村一般会計補正予算（第５号）	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	議長

第548回　11月臨時会における議員の賛否の公表

			1	2	3	4	5	6	7	8	9
議案番号	件名	賛否	廣川文夫	伊藤幸喜	小沢甲市	片桐英子	三澤榮三	高倉好博	小野澄雄	篠竹正弘	斎藤賢一
61	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例ついて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
62	村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
63	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	議長

第549回　12月定例会における議員の賛否の公表

			1	2	3	4	5	6	7	8	9
議案番号	件名	賛否	廣川文夫	伊藤幸喜	小沢甲市	片桐英子	三澤榮三	高倉好博	小野澄雄	篠竹正弘	斎藤賢一
64	福島県特定事業活動振興計画に基づく湯川村村税の特例に関する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
65	湯川村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
66	湯川村国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
67	令和３年度湯川村一般会計補正予算（第６号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
68	令和３年度湯川村国民健康保険特別会計補正予算（第３号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
69	令和３年度湯川村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第２号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
70	令和３年度湯川村介護保険特別会計補正予算（第２号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
71	令和３年度湯川村一般会計補正予算（第７号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

＊「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、議長は議決に加わらないため議長裁決以外は「議長」と表記。

村政を問う
一般質問

12月定例会



伊藤　幸喜
議員

放課後児童クラブのあり方は来年度から検討

問　**現在、放課後児童クラブは登録者が83名で定員40名をはるかに超える状況にあるが、村長は村民の意見を聴く場、小学校適正規模検討委員会の設置をする考えはないと6月議会で答弁した。小学校が2校ある中で、これから先、何年も、ユースピアゆがわで放課後児童クラブを活動していくのか？**

答　放課後児童クラブの利用人数が年々増え続け、十分な活動スペースを確保することが困難になってきていることは十分承知しており、今後は、新たな施設の建設についても早急に検討する必要があるが、他の公共施設との整備計画の調整や財源の確保などが必要となるので、しばらくの間は、現在のユースピアゆがわでの活動を続けざるを得ない。

【教育委員会答弁】

現在は、希望者全てを受け入れているが、両親や祖父母など家庭の中で児童の面倒を見ることができる人がいる家庭や児童のみでも安全が確保できる場合には、利用をご遠慮していただくなど、適切な利用をお願いする。

また、利用人数が減少しない場合は、ユースピアゆがわ2階の4部屋全てを児童クラブの専用区画として利用することも検討している。

【意見】

ユースピアゆがわは村民の憩いの場であり社会教育の施設である。

児童クラブは各小学校に併設されるのが望ましい。

中学生の通学路も安全点検が必要

問　**村内通学路の安全点検について、どういった方々で構成され、どのような検討がされているのか？中学生の通学路安全性の確保の状況は？**

答　道路管理者、警察、PTAなどで構成される通学路安全推進会議において、笈川・勝常小両小学校PTAで取りまとめた要望箇所を見て回り現況を確認し、対策の必要性や対応策について協議を行い、関係する機関に改善の働きかけを行っている。中学生の通学路点検は実施していないのが現状である。

【意見】

子どもたちの意見も取り入れて安全対策をしてもらいたい。

学校給食の残食率は？

問　**子供たちが生きる力を身に着けていくためには、何よりも「食」が重要であるが、本村の給食の残食率と対策は？**

答　令和3年11月で、一人分の1食当たり残食量は、小学校では28.8g、中学校では30.0gである。残食対策としては、児童生徒と給食センターとの間で毎日やり取りをしている「モニターノート」を活用し、好きな物・嫌いな物の把握に努めている。

また、調理法や味の付け方を変えるなど、食べやすい献立作りを心掛けている。



給食の一例
（カレーうどん、サラダ、柿、牛乳）

上記ＱＲから動画でご覧になれます。

村政を問う
一般質問

12月定例会



小沢　甲市 議員

令和4年産米の種子購入費・肥料等購入費を支援

問　**2021年産米の米価下落によって農業所得が減少し、来年度は農家の生活が非常に厳しい状況が危惧される。稲作農業者の生産意欲の向上と経営継続に向けた支援のため、次期作に係る種もみや肥料、農薬、資材等の値上げが予想されるので経費の一部を支援する考えはあるか？**

答　県において「米生産意欲向上支援緊急対策事業」を創設し、令和4年作付用の水稲種子購入費の3分の1を助成するが、村でも更に上乗せの助成について検討している。また、その他、肥料等の購入に係る支援についても併せて新年度予算の中で検討する。

問　**来年度、米の需給及び価格を安定させるためには水稲の作付け転換は全国で4万ヘクタールの面積が必要であると言われているが、福島県での作付け転換面積はどのくらいか、また、主食用米の作付面積はどのくらいか伺う。**

答　県の水田農業産地づくり対策等推進会議においては、国と同じ前年産マイナス4％ベースとしており、今月13日に各市町村別の生産数量目安を発表することとなっている。

↓本村の目安は前年度と同様と発表された。

問　**株式会社会津湯川ファームの今後の取組みについて、①土地、建物、育苗ハウス等の取得について、②社員の増員計画について伺う。**

答　①今後、ファームに必要な施設・設備について、しっかりとした整備計画の策定について検討し、①会社事務所、②農業機械格納倉庫、③水稲苗育苗施設について優先的な整備を検討していく。

また、当該施設について、既施設の有効利用や村・JA所有地等も考慮しながら検討していくこととし、更に指定管理やファーム独自での整備に対し村で支援する方法等についても再検討することとしている。

社員の増員計画はないが、JA会津よつばからの派遣、地域おこし協力隊等の派遣等についても検討していきたい。

問　**各集落に設置されているカーブミラーについて、鏡の汚れや剥げているもの、曲がって見にくい所もあるので、事故防止のためにも年に数回保守点検を実施してほしいと思うが、当局の考えを伺う。**

答　本年度、村内すべてのカーブミラーについて一斉点検し、203基のうち51基が修繕の必要があると判断した。予算の関係上、一度に修繕は困難なため、腐食のひどいものなど優先順位をつけ次年度以降、年次計画により修繕していきたい。



腐食がひどいカーブミラー

上記ＱＲから動画でご覧になれます。

村政を問う
一般質問

12月定例会



廣川　文夫 議員

来年度、収入保険等のセーフティーネット加入支援へ

問　米価下落に伴う農家所得の減少により農家経営を圧迫して、農業再生産意欲を低下させている現状である。村長は農家に対する追加支援をどう考えているのか。

答　県で実施予定の水稲種子購入費助成にあわせた村の上乗せ助成のほか、肥料等購入に係る支援や収入保険等のセーフティネット加入に係る支援についても併せて新年度予算の中で検討していく。

問　湯川ファームの今後について、①施設、②人事について、現在具体的に何か計画が進んでいるのか伺う。

答　必要な施設・設備について、優先順位等を設けながら、後年度に悪影響を残さないような、しっかりとした整備計画の策定について検討することとし、主に初期に必要な施設である①会社事務所、②農業機械格納倉庫、③水稲苗育苗施設について優先的に整備を検討していく。

なお、財源は、利用可能な補助事業等がないか検証するとともに、ファームの資本金及び村農業振興基金等の活用についても検討する。

また、社員の増員計画はないが、JA会津よつば派遣の取締役職員については、現在JAと協議しているところでる。

令和4年度からの公民館長設置検討

問　社会教育について、公民館長設置の考えはあるか。また、社会教育委員の会議規則は作成したのか伺う。

【教育委員会答弁】

答　公民館長を常勤や非常勤、専任や兼任など、どの様な形で人材を配置することが適切なのか、細部についてこれから協議し令和4年度からの設置に向けて準備を進めていきたい。

社会教育委員の会議規則の作成については令和4年度から施行できるように現在事務を進めている。

問　地域と学校の連携のため「おらが村の応援隊」が設置されているが、現在どのように活用されているのか伺う。

答　両小学校において、スポーツ吹き矢や押し花、調理やパソコンなどクラブ活動の講師として、また、中学校においては、2年生の社会科授業の講師として呼ばれ活動した。



おらが村の応援隊による豆ぶちの様子

問　村内にはいくつかの企業があり、その企業を優先活用して公共事業の推進を図る考えはあるか？

答　本村では、平成30年度から「総合評価方式」を導入した。

この制度は技術力や地域への貢献度をポイント化し入札額で割り返して出された数字の大小で落札者を決定するものであり、価格だけでは落札者が決定しない仕組みである。

また、ある程度小規模な事業等を発注する場合には、出来る限り村内業者を優先的に指名競争入札に参加させている。

上記ＱＲから動画でご覧になれます。

村政を問う
一般質問

12月定例会



片桐　英子 議員

問　今年度の米価及び作付けの状況をどのように認識しているか。また、次年度以降をも見据えた対策を早急に計画すべきと考えるが見解を伺う。

答　稲作農家が再生産と経営が継続できる環境を早急に整える必要があるため、国や県の対策とあわせて、村においても現在、今後の対応について新年度予算編成に向けて検討している。

問　独自アンケートで、市民農園開設の提案があった。退職後の生きがい、子育て世代での食育やふれあいのためにも予備調査を含めた取組を進めてはと思うが見解を伺う。

答　「湯川村農業振興ビジョン」において令和7年度までに観光・市民農園設置目標数を3施設としており、今後、進めて行きたい。

問　公共施設での三次喫煙を防ぐための方策について、昨年9月に質問したが、1年経過したので研究結果について伺う。

答　喫煙者に対して三次喫煙について認識してもらう学習の場を設けようと考えており、三次喫煙がどういうもので非喫煙者にどうような影響を与えているのかを理解してもらい、最終的には喫煙者の禁煙に繋げていければと考えている。



庁舎の外に設置されている喫煙所

管理栄養士は今後も継続募集

問　会計年度任用職員（注1）としての管理栄養士の設置について、応募はあるとの回答だったが、約3年経過しても応募はなく未設置のままである。他市町村の方より湯川村は後退したとも言われた。食育・生活習慣予防と悪化防止、委託業者への指導など住民生活の質向上に欠かせない管理栄養士を設置すべきと考えるが見解を伺う。

答　現在は元村栄養士を会計年度任用職員として採用し、また、一時的な期間、管理栄養士を病院より派遣していただいている。ハローワークや栄養士協会等に問い合わせを行い次年度の採用に努力しており、村内全戸への周知、病院、公的機関への声掛けを今後も行いたい。

問　石油価格の高騰は、灯油・ガソリンだけでなく諸物価を上げている。従来の非課税世帯だけでなく、非課税世帯に近い所得の世帯にも福祉灯油の枠を拡大すべきと考えるが見解を伺う。

答　本村は、非課税世帯のうち高齢者世帯、障がい者世帯、ひとり親世帯等へ一万円の灯油購入助成券を支給している。他の多くの助成や、給付等の対象世帯の線引きとしている非課税世帯とすることで、目的とする生活安定と福祉増進を図れると考えており、助成世帯の拡大をする考えはない。

注1
地方公務員法が適用される一般職の地方公務員で、任用期間が最長1年、再度の任用もでき、期末手当、昇給（上限有り）もある。

上記ＱＲから動画でご覧になれます。

村政を問う
一般質問

12月定例会



三澤　榮三
議員

学校給食の調理時の野菜の皮等養鶏場の餌として活用

問　12月1日、総務文教常任委員5名で、会津坂下町立学校給食センターへ視察研修し意見交換してきた。本村においては、平成25年から小中学校の給食を依頼しており安全安心な給食を作っている現場を確認したが、次の点について伺う。

①残食の処理について伺う。

【教育委員会答弁】

答　残食の処理について、事業系の一般廃棄物として処理しており、会津坂下町の指定する業者に委託し毎日搬出している。また、調理前の野菜の皮などの一部は、会津坂下町内にある養鶏場へお譲りし、餌として利用されている。

問　②好き嫌い、アレルギーの子どももいると思うが、献立作成について伺う。

【教育委員会答弁】

答　現在、湯川村の小中学校の児童生徒についてアレルギー対応をお願いしている人数は14人で年々増加傾向にある。アレルギーの子もできるだけ同じものが食べられるようにと、小麦を米粉に代えたり、デザートもアレルギー者が少ない果物に代えるなどの工夫をしている。好き嫌いの対応については、調理法や味付けを変えるなどの方法のほか、あえてピーマンなどを入れるチャレンジメニューを月1回程度献立に盛り込むなど、工夫を凝らした取り組みも行っている。

防火用水として旧簡易水道水源地から吸送水

問　空気が乾燥し火災が発生しやすくなってくる。除雪も大変である。中ノ目集落から下扇田集落へは用水路に水が流れていない。野菜も洗うことができない。火災が発生したらどう対応するのか伺う。

答　本村では、現在実施されている「会津南部地区パイプライン維持管理工事」により、冬季間の農業用水の断水が令和5年度まで続く予定である。そこで、本年も昨年と同様に、12月中下旬より旧簡易水道水源地からの吸送水や会津若松市神指町の旧湯川の小野田堰からの通水により一定程度の水量を確保し防災対策の充実を図っている。





旧簡易水道水源地からの吸送水（中ノ目付近）

問　各集落内の除雪について、トラクターを持っている方に委託して除雪をしているところがあるが、高齢でやめたいという方も出てきている。1人でのトラクター除雪は大変危険である。村独自の事故防止対策やその対応について伺う。

答　村では事故対応として、村の予算により借上トラクターについて車両保険に加入しており、さらに、仕様書にて事故防止の注意喚起を行い安全管理、安全運転に努めていただいている。

上記ＱＲから動画でご覧になれます。

村政を問う
一般質問

12月定例会



高倉　好博 議員

農地取得の下限面積50アールについては再検討

問　空き家対策や人口増加対策により、村内に移住してきた方が家庭菜園等のため農地を購入したいと考えている世帯を村として把握しているか伺う。

また、村内に移住してきた方で5アール位の農地を購入して野菜作りなどしたいという方がおられるが、農地を取得する際の下限面積要件50アールがあり購入できない状況である。この案件に関しては調べてみたところ、今回が初めてではなく平成31年3月議会において質問されているが、今までの検討結果と合わせてどのような考えでいるか伺う。

【農業委員会長答弁】

答　現在、移住者から農地を購入したい旨の相談については、農業委員会では聞き及んでない。

耕作を目的として農地の権利を取得する場合、下限面積要件があるが、地域の実情に応じて、農業委員会が「別段の面積」を定めることができるとされている。今後、移住者の農地購入希望の把握や近隣町村の状況等を踏まえながら、湯川村に適した下限面積設定の追加等を早期に行い、農地利用最適化の一層の推進を図っていきたい。

問　畑については、耕作放棄されたような状態で荒廃し、草が生い茂っているところある。村長はこの状況をどのようにとらえているか、また、対策をどのように考えているか伺う。

答　今後、村農業委員会と連携し、農地保全管理に努めるとともに、将来的には㈱会津湯川ファームにおける畑地の管理についても検討していきたい。

集落協力除雪は法令遵守を基本に今後検討

問　本格的な降雪期となり、本年も昨年同様の集落協力除雪が実施されると思うが、農業用トラクターによる公道での除雪作業は道路運送車両法、労働安全衛生法や道路交通法など適正な事務処理をされているか、また、具体的にどのような法律に基づき事務処理されているか伺う。

答　農業用トラクターによる公道での除雪作業については、道路運送車両法での車両の保安基準、道路交通法での車両の運転免許等、法令を遵守し実施している。なお、農業用トラクターによる村道除雪については、労働安全衛生法での技能講習の受講は必要ではないが、仕様書にて事故防止の注意喚起を行い安全管理、安全運転に努めていただいている。

村では、集落内の狭隘な村道について、集落協力除雪により冬期間における地域の交通確保に地域と共に取組み、住民生活の支援を引き続き行ってまいりたい。



狭い道路は集落協力除雪を実施

上記ＱＲから動画でご覧になれます。

村政を問う 一般質問

12月定例会



篠竹　正弘 議員

問 **反射材等による交通事故抑制対策について、村・各種団体等の現在の取組み、状況について伺う。**

答 湯川村交通対策協議会では、県で定める交通事故防止運動期間中、広報車による広報活動を通学・通勤時間帯に行っており、交通安全母の会では、毎月1日に広報車による交通事故防止啓発活動を実施している。また、春と秋の2回、幼稚園で実施している交通安全教室へ参加し、交通指導、事故防止を目的とした劇を行ったり、手作りの交通安全グッズを配付したりしている。

ドライブレコーダー設置補助の考え、現段階ではなし

問 **幼稚園バスの事故を踏まえ、住民に交通事故抑止や証拠の意味も含めドライブレコーダー設置の推進・補助を他に先駆けて実施すべきと思うがどうか。また、村内の横断歩道・停止線・白線等の補修が早急に必要と思うがどうか。**

答 ドライブレコーダーについては、ある程度設置が進んでいる状況や、価格も比較的安価なことを考慮すると現時点では助成する考えはない。

また、外側線、中央線等区画線の補修については、今後も、計画的に整備していく。

問 **米価が先行き不安定の今、出荷だけでなく村内で販売・消費する場も必要ではないか。例えば「村営食堂」等で農商工連携・地産地消の取組みも必要と思う。そのための食農ビジネスチーム創設も必要と思うがどうか。**

答 現在、道の駅の農家レストラン「くうべぇる」では、湯川米及び湯川、会津坂下地域の野菜を主体としてメニューを提供しており、湯川産米の一層の利用推進、ＰＲを図っていきたい。

県道浜高線の整備については今後も継続的に要望

問 **県道浜崎・高野・会津若松線の浜崎地区バイパス工事の進捗状況について、県・ＪＲとの協議は進んでいるのか。また、今後の進め方を伺う。**

答 村では浜崎地区からの要望を踏まえ、置賜踏切の存続について関係機関に申入れをした。現在、県ではＪＲとの協議を踏まえ、事業推進について検討、調整を図っており、村では、引き続き県と連携し事業推進に協力してまいりたい。また、浜崎区の皆様への経過報告、今後の具体的方向性の説明をなるべく早い時期に行えるよう県に要請する。



車両同士すれ違うことができない殿松踏切

上記ＱＲから動画でご覧になれます。

村政を問う
一般質問

12月定例会



小野　澄雄 議員

財政の硬直化が顕著 令和6年度公債費4億円！

問 **①財政の見通しと対策をうけて。**
社会経済は大きな打撃を受けている。
村税に於いても令和2年度の自主財源比率は、24.7%と大きく落ち込んでいる。見通しと対策は？

答 本村の財政指標は、財政の弾力性の指標を示す経常収支比率について91.0%で、70～75%程度が望ましいとされているため、財政の硬直化が顕著に表れている。さらに、近年、大型事業を実施したことにより公債費が増加し、6年度の償還は約4億円に上る。独自の知恵と努力により「最小の経費で最大の効果」が得られるよう、一層の鋭意努力を重ねていく。

問 **②政策評価と次年度の重点政策について伺う。**
農家経済の落ち込みが著しい。その中でも、販売方法や販売先の違いによって、売上高に大きな差が生じている。そのためにも目標・目的・手段を明確にして、メリハリのついた予算配分、更に政策誘導が必要でないか。

答 国からの地方創生臨時交付金を活用し、村内企業への応援や商品券の配付タブレット端末の整備、幼稚園での空調機器整備を実施した。
令和4年度に向けては、全ての事業の見直しを行い、歳入に見合った歳出構造を今まで以上に確立するよう指示した。

ふるさと納税は貴重な自主財源！

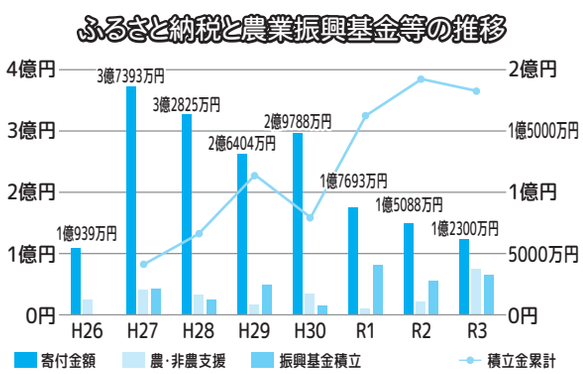
問 **本村の自主財源に於いて、「ふるさと納税」は大きなウェートを占めており、重要な財源の一つである。認識を問う。**

答 寄附金はあくまでも善意に基づくものという考えであり、村税とは違い毎年度恒常的に安定して入ってくる財源とは言えない。しかし、近年、全国の方々から、毎年1億円を超えるご寄附をいただき、貴重な自主財源となっていると認識している。

企業版ふるさと納税の体制つくりを検討

問 **「ふるさと納税額」が3億7千万円をピークに毎年減少している。**
クラウドファンディング型や企業版ふるさと納税等、検討すべきでないか。

答 ふるさと納税は、平成27年度の3億7千万円をピークに年々減少し、令和3年度は、約1億2千万円と、約1／3程度まで減少した。令和4年度はリピーターを離さぬよう、ポータルサイトを更に2つ程度増やし、企業版ふるさと納税の体制づくりも含める新たな寄附者の発掘に努めてまいりたい。



問 **返礼品を通したイメージアップと農業振興について問う。**
地球への貢献が求められている今日、「ふるさと納税」を通して、農業の環境負荷低減の取組みを進め、農業の環境貢献推進を発信すべき。企業のSDGsに連携させることで、「ふるさと納税」の拡大に繋がるのでないか。
更に、「ふるさと納税」を進める上で、特別対策室等、全庁一丸となって取り組むべきである。

答 返礼品農産物については、現在の米だけでなく、多様な農産物、仕組みづくりが必要だと考え、湯川産米のブランド化とも連携できる仕組みを検討していく。

上記ＱＲから動画でご覧になれます。

福島県町村議会議員研修会について

副議長 篠竹正弘

10月20日（水）午後1時より郡山市のビッグパレットふくしまにおいて、県町村議会議員研修会が開催され、村議全員が参加しました。

JR四国社員を経て、平成11年、27歳で徳島県川島町長に初当選し2期務められた早稲田大学マニフェスト研究所の中村健氏を講師に迎えての研修会となりました。

「緊急事態宣言により議会は何が変わった？」の内容から、「通常の議会運営がコロナ禍では不十分、停まった議会活動」について、解決策として、全国的にＩＣＴの導入・活用による活動の取組みが拡大している調査結果が出ているとのことでありました。

湯川村議会としても、タブレットを導入しており行政側との情報共有や議会の常任委員会活動含め、スピード感をもって活用しており、住民サービスが留まる事の無いように取組んでいくことが重要であると改めて認識することができました。

第二部ではジャーナリストの長谷川幸洋氏による「今後の政局・政治展望」と題した講話も行われ、衆議院総選挙前の政局の動きなどについて冗談を交えながら鋭い視点で政治局面を説明されました。

二氏ともわかりやすい講演で、今後の議会活動に十分に生かすことができる内容でありました。


研修の様子

古殿町議会だより編集特別委員会視察研修受け入れ

広報広聴委員会 三澤榮三

11月18日（木）午後1時30分より、福島県古殿町議会「議会だより編集特別委員会視察研修」として、古殿町議会議員様6名が本村を訪問されました。

この研修は、昨年度実施予定でしたが、コロナの影響で延期となり、この度ようやく実施することができました。

研修の目的は、①議会広報の編集方針、②議会だよりの特徴、③編集方法や日程、④今後の新たな取組み等であり、本村では議長と広報広聴委員5名で対応しました。

議員同士で「どうすれば読んでもらえる広報になるか」「編集で気を付けていること」などについて闊達な意見交換を行いました。

最後に、お互いの共通認識として「今後は住民参加がポイント」として締めくくり、今後は交換した意見を踏まえた活動を実施することを確認するなど、充実した研修会となりました。


議員同士で活発に意見交換が行われた

第32回両沼地方町村議会議員大会決議事項要望書を提出

令和3年10月14日に福島県及び会津若松建設事務所に次の決議事項を提出しました。当日は井出副知事をはじめ土木部長等に要望書を提出しました。

また、11月25日には福島県選出関係の国会議員にも両沼地方町村議会議長会全員で要望書が提出されました。

本村の要望内容要旨は次のとおりです。

①一般県道浜崎高野会津若松線の整備促進について

本路線の全線整備完了による道路交通の安全確保と産業経済の振興を図るとともに、地域住民生活の安全と利便性の良い生活環境を維持確保するため、浜崎集落バイパス工事の早期着工について強く要望いたします。

②一級河川（旧湯川・せせなぎ川）の整備促進について

河床部堆積物の除去、狭窄部対策、さらに堤防に繁茂する樹木を伐採し、適正な維持管理に努めるよう要望いたします。


菅家一郎議員へ要望書を提出


井出副知事へ要望書を提出

米価下落に伴う緊急要望書を提出

令和3年産の米価下落を受け、本議会では議会全員協議会で要望書を取りまとめ、村及び国、県に対して「緊急要望書」を提出し対応を迫りました。内容は次のとおりです。

【村への要望内容】

①10ａあたり5千円の農家支援助成に加え、独自支援をさらに追加

②ナラシ対策や収入保険加入に向けた保険料負担支援と小規模農家支援

③村独自の利子補給上乗せ

④生産資材費及び種子購入費等に対する助成

⑤「水田保全直接支払交付金」制度の新設、または多面的機能支払交付金上乗せ

【国・県への要望内容】

①ナラシ対策及び収入保険早期の支払いと加入要件緩和

②つなぎ融資への利子補給と種子購入費用助成

③政府備蓄米の増枠と機械、設備等購入費用への補助拡充

④令和3年度新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金の更なる予算確保

⑤「水田保全直接支払交付金」制度の新設、または多面的機能支払交付金の上乗せ

⑥ミニマムアクセス米の数量調整


小熊慎司議員へ提出


三澤村長へ提出


菅家一郎議員へ提出



森まさこ議員へ提出


小林昭一県議へ提出

総務文教常任委員会視察研修報告 12月1日（会津坂下町学校給食センター）

総務文教常任委員会
副委員長 伊藤幸喜

先日、総務文教常任委員会で、会津坂下町学校給食センターを視察させていただきました。

湯川村は、村内の学校給食設備が老朽化して平成25年度より、会津坂下町に小中学校の児童、生徒、教職員の給食約２９０食をお願いしております。

訪問当日は、会津坂下町教育長も同席されセンター所長より丁寧な説明を受けてきました。厨房室は全てオール電化で、清潔感あふれるところで調理され、栄養管理、食材管理、アレルギー対策も、きめ細かく管理され安心安全な学校給食が提供されているところを確認してきました。ただ、せっかくおいしく作られた給食を食べ残す児童生徒がいることは、なかなか解決できないようであります。朝ごはんをしっかり食べる習慣、好き嫌いをなくし健康な体作りなど、食生活も小学生の時から家庭、学校などと連携をして指導し、また、ＳＤＧｓの目標の一つであります食品ロスをなくしていくことも次世代にとって重要な課題であると協議し、有意義な視察をさせていただきました。



経済常任委員会所管事務調査報告 11月15日（商工会との意見交換会）

経済常任委員会
副委員長 廣川文夫

経済常任委員会として去る11月15日に村商工会９名の役員の方々と意見交換をしました。

意見としては、プレミアム商品券がまだ売れ残っている状態で、村民や地元企業にも還元されておらず、村民や企業に勤めている人にもＰＲをしていく必要がある。またお得感を増やすために村からの財政支援を受け３万円以上の商品券にすることも必要ではないか。他には、コロナの影響下で木材の高騰、半導体が入らないことにより仕事の減少、飲食業では昼の営業はさほど影響はないが、夜の宴会がなく営業にならない状態である、さらに村の施設の点検を建設業組合が行えば、早期発見早期改修ができ、結果長寿命化が図られるのではないか、他にも持続可能な村にすることが大切であるなどの意見が出されました。

今後は議会として、本日の意見をもとに村の活性化に繋がるよう行政とともに対応していきたいと考えました。



湯川村議会の主な動き

１０月２１日	広報広聴委員会
２４日	おぐま慎司ドライブイン個人演説会
２５日	例月出納検査、かんけ一郎個人演説会
２８日	かんけ一郎個人演説会
３１日	消防秋季連合検閲
１１月　２日	議会運営委員会
５日	第５４７回湯川村議会臨時会、全員協議会
１０日	定期監査（～１２日）
１１日	米価下落に係る村への緊急要望活動
	会津総合開発協議会役員会
１５日	全国過疎地域連盟会第５２回定期総会
	湯川村商工会との意見交換会
１６日	両沼地方町村議会議長会臨時総会・行政懇談会
１７日	ふくしま駅伝選手壮行会
１８日	広域圏議会運営委員会、会津総合開発協議会臨時総会
	古殿町議会「議会だより編集特別委員会」視察研修
２５日	第32回両沼地方町村議会議員大会決議事項中央要望
２６日	米価下落に係る県選出国会議員への緊急要望活動 写真①②
	第65回町村議会議長全国大会
２７日	福島駐屯地創立６８周年記念式典
	暴力団根絶会津坂下地区町村民大会
２９日	議会運営委員会、例月出納検査
３０日	第５４８回湯川村議会臨時会、広域圏臨時会
	米価下落に係る河沼選出県議への緊急要望活動
１２月　１日	会津坂下町学校給食センター視察研修
３日	議会運営委員会、議会全員協議会
７日	市町村対抗野球・ソフトボール大会村旗返還式
８日	自治功労表彰式 写真
１０日	第549回湯川村議会定例会（～１５日）
１２日	湯川村婦人消防クラブ総会
１７日	西会津町議会タブレット視察研修
２２日	県町村議会正副議長・事務局長研修会
１月　７日	新春の集い
８日	令和２年度湯川村成人式
９日	消防出初式・無火災祈願


金子恵美議員へ提出①


増子輝彦議員へ提出②


自治功労表彰式

議会中継　録画配信のご案内

湯川村議会では、年４回（６・９・12・３月）の定例会で行われた一般質問の録画中継を公開しています。

スマホやパソコンで見ることができますので、この機会にぜひご覧ください。

例年実施していた村民との意見交換会ですが、今年度はコロナ感染拡大防止のため中止といたしましたのでご了承願います。

議会広報広聴委員会

委員長	篠　竹　正　弘	
副委員長	三　澤　榮　三	
委員	小　沢　甲　市	
	伊　藤　幸　喜	
	廣　川　文　夫	

編集後記

２年近く続いた新型コロナウイルス感染症も減少傾向にあり落ち着いてきたようですが、まだまだ予断を許さない状況であります。村民の皆様方には、手洗、うがい、マスク着用で予防対策を行い油断せず日々を過ごしてください。

令和三年度は、稲作農家にとって大変厳しい年でありました。生産者米価の大幅な下落に伴い、生活に支障が出かねない状態であり、先行きの見通しが暗く明かりが見えない状況です。消費者物価は、すべての品物が値上がりしておりフトコロも寂しい限りです。

令和４年度は、新型コロナウイルス感染症も収まり、景気も回復して、日本経済も順調に上向きになって、村民の皆さんが元気な笑顔で寅年の一年間を過ごされることを願うものです。

（小沢甲市）

発行／河沼郡湯川村議会　編集／広報広聴委員会　〒969-3593 福島県河沼郡湯川村大字清水田字長瀞18番地
TEL(0241)27－8860　FAX(0241)27－3771